

平成29年度一般社団法人和歌山市消防協会事業報告

消防及び防災に関する知識の普及及び啓発、調査及び研究、講習会の開催等を行うことにより、防火・防災意識の高揚を図るとともに、災害に強い街づくりを目指し、もって社会公共の安全及び福祉の向上に寄与することを目的として次の事業を行った。

(1) 和歌山市消防局防災学習センター運営事業

ア 和歌山市消防局防災学習センターの運営に係る業務について、平成29年4月から平成30年3月までの1年間、受託者として同センターの運営にあたり施設の見学案内を行った。

(平成29年度の入館者 11,669人

・毎日新聞防災特別号<<9月>>・毎日新聞紙面<<1月>>でPR)

(入館者15万人達成記念セミナー 10月4日

15万人目入館者 和歌山市立本町幼稚園の園児)

イ 地震体験車に係る業務について、防災学習センター見学案内の一環として、防災意識の高揚及び防災に対する知識の向上を図った。

(平成29年度の利用者数 9,100人※イベント派遣時の利用者含む)

ウ 7月・8月の夏休み期間中に7回、また、1月に5回、防災学習センター内でイベントを企画して実施。防災学習センター及び中消防署を活用し、小さな子どもから大人まで楽しみながら防火防災の知識を深めることができ、同時に来館者アップにもつながった。

●夏休みイベント：なりきり消防士で放水体験&防災学習センター見学

(TVCM12本、ホームページ、こども市報等でPR。参加人数 449名)

●ウィンターイベント：防災グッズ手作り工房(新聞スリッパ・携帯トイレ)

(TVCM12本 ホームページ、市報でPR。参加人数 96名)

エ 4月及び10月に市内の全保育園、幼稚園、小学校と県下・大阪府下の小学校に学習センター利用案内を協会独自で送付し、防火・防災意識の高揚につながるよう団体利用数のアップを図った。

(4月 373通、10月 368通)

(2) 防災教育事業

ア 和歌山市消防局防災学習センター及び消防局の施設を利用して、平成29年7月26日・27日・28日、8月17日・18日に夏休み防火防災スクールを企画・開催し、親子で楽しみながら火災予防意識の向上と災害時の行動力を身につけることができた。

(参加者募集 TVCM26本、ホームページ、子ども市報等でPR。

参加人数 小学生 126名 保護者等 138名)

イ 『子どもなかよしまつり&和歌山音楽大行進』への参加において、会場に地震体験車を派遣し、地震時の行動力を身につけることができるように指導した。

(5月5日 利用者 323人)

平成29年度一般社団法人和歌山市消防協会事業報告

ウ 市民をはじめ市内の各種団体及び会員事業所を対象に防火・防災等出前講座を開催し、地震、津波、火災、その他救急に関する対策や対処方法を指導した。

(出前回数 50回 受講者 4,795人)

エ 会員事業所を対象に防火・防災に関するDVDの貸出しを行った。

(貸出し件数 1件)

(3) 防火防災広報等事業

ア 子ども向け防火啓発パンフレット「消防署の仕事」及び消防シールを作成した。

(通年 各8,000枚)

イ 春と秋の火災予防運動、年末火災特別警戒で防火啓発を実施。

	実施日	実施内容
秋	11月 9日～15日	TVCMにて防火啓発 6本 消防掲示用ポスター 1,000枚 ホームページ・フェイスブック等
春	3月 1日～ 7日	TVCMにて防火啓発 6本 消防掲示用ポスター 1,000枚 ホームページ・フェイスブック等
年末	12月15日～31日	TVCMにて防火啓発 18本 ラジオ放送 8本+生放送1本 ホームページ・フェイスブック等

ウ テレビ、ラッピングバス、啓発旗などの広報媒体やイベントへの協賛により防火防災意識の向上を図った。

	実施日	実施内容
防災週間(防災の日)	8月30日～9月5日	TVCM 6本 産経新聞・毎日新聞 (防災特別号) ホームページ・ フェイスブック等
高齢者等防火推進週間	9月15日～21日	ホームページ・ フェイスブック等
防火啓発バス	通年	側面広告
市ごみ収集車側面広告	通年	側面広告
第17回和歌浦ベイマ ラソン With ジャズ	11月12日	協賛：コース内 防火啓発のぼり 25本

エ 救急車の利用増加・救急隊員の現場到着時間の遅延を防止するために、救急車の適正利用を呼びかけた。

平成29年度一般社団法人和歌山市消防協会事業報告

	実施日	実施内容
救急医療週間 (救急の日)	9月3日～9日	TVCM 6本 ホームページ・ フェイスブック等
第17回和歌浦バイマ ラソン With ジャズ	11月12日	協賛：コース内 救急車適正利用のぼり25本

オ 夏休み防火防災スクールの体験の写真を活用して、カレンダーを作成。スクール参加者と市内の保育園、幼稚園、小学校、支援学校及び会員事業所に配布し、防火防災意識の向上を図った。

(カレンダー作成部数 900部)

カ 会員事業所等に「消防協会だより」を年1回発行し、配布。

(1月 700部)

キ 防火防災意識及び知識の向上を図るため、6月より地域生活情報誌の防災コラムで防災グッズのプレゼントを実施。同時に各種防火防災週間やイベント開催、防災学習センターPR記事を掲載し、普及啓発を実施した。

(リビング和歌山・週刊/無料・配布部数：150,000部)

実施日	プレゼントグッズ	個数	応募数	摘要
6月	折り畳み式防災用ヘルメット 「IZANO」 オレンジ×ホワイト	3	200	夏休み防火防災スクール 開催記事
7月	心肺蘇生音声誘導器	5	25	サマーイベント開催記事
8月	防災グッズ&消防グッズ (トイレンジャー2個、救急車ストラップ、消火器型ホルダー、絆創膏、折り畳みボトル)	10	100	防災学習センターPR記事
8月	備える食品ギフト	5	190	防災週間 企画
9月	ケアハート(R) 応急セット・ポーチタイプ	5	84	救急医療週間 企画
10月	3LEDヘッドライト	5	170	
11月	スマートエマージェンシーボトル	6	110	
12月	シュラフ・2	2	148	市民防災大学開催記事
1月	3LEDヘッドライト	20	312	ウィンターイベント 開催記事
2月	防災エプロン&アームカバー	2 セット	53	春の火災予防運動 企画
3月	アクモキャンドル	10	74	

平成29年度一般社団法人和歌山市消防協会事業報告

(4) 講習事業

ア 各種講習会について、平成29年4月から平成30年3月までの1年間、受託者として下記講習会を実施した。

i) 甲種防火管理新規講習	8回	受講者	476名
甲種防火管理再講習	1回	受講者	74名
防災管理新規講習	1回	受講者	35名
防火・防災管理再講習	1回	受講者	5名
ii) 患者等搬送乗務員基礎講習	1回	受講者	7名
患者等搬送乗務員定期講習	1回	受講者	9名
iii) 普及講習	75回	受講者	3,551名
普通救命講習	80回	受講者	1,601名
上級救命講習	5回	受講者	104名
iv) 防火アドバイザー研修	4回	受講者	121名

イ 上記講習会にともなう各種講習テキストの販売を実施した。

i) 甲種防火管理新規講習テキスト	477冊
甲種防火管理再講習テキスト	74冊
防災管理新規講習テキスト	35冊
防火・防災管理再講習テキスト	5冊
ii) 患者等搬送乗務員基礎講習テキスト	7冊
iii) 応急手当講習テキスト	294冊

(5) 防火防災用品等普及事業

ア アクモキャンドル（防災用灯）	10個
浮くリュックサック（ホイッスル、防災頭巾付）	1個
イ 人工呼吸用感染防止マスク フェイスシールド	2個
心肺蘇生音声誘導器	4個
ウ 消防図書等の書籍の販売を行った。	976冊

(6) 市民防災大学講座開催事業

市民防災大学公開講座について、和歌山市（地域安全課）から委託を受けたので企画、立案及び会場運営、アンケート調査、報告等の業務を実施した。

	実施日	受講者
公開講座	1月21日	104名

(7) 4団体に関する事業

和歌山市危険物防火研究会、和歌山市防火管理者連絡協議会、和歌山市防火管理者連絡協議会各支部、和歌山市LPガス防火研究会の経理業務について、平成23年6月から委託を受けたので、引き続き同団体の業務を行った。

平成29年度一般社団法人和歌山市消防協会事業報告

(8) その他和歌山市消防協会の設立目的を達成するために必要な事業

ア 防火協力団体や各種研究会への広報活動支援を行った。

イ 協会充実に関する調査等を実施した。

ウ 消防職・団員に対して、優良表彰を行った。

(3月4日 吹上分団・雑賀分団・松江分団)